

最新技術を追求する池田物産はサーカディアンリズム（概日リズム）をコンセプトとする新しい技術提案をスタートする。提携先のユニベックス社（カナダ）が提唱する時間生物学と呼ばれる最新バイオ研究に基づく成果と、11種ほどの化粧品原料の機能性を体系的に整理した。

サーカディアンリズムとは、生物が持っている24時間サイクルのリズムのこと。多くの皮膚機能もこのリズムに従っており、昼夜で細胞増殖能、皮脂分泌などの生理が異

なる。この違いと、分子生物学的知見を組み合わせ、原料ごとにエビデンスを確認し、年代別特有の皮膚老化メカニズムに対応した新処方システムを用意して技術先行型営業活動を展開する。

新処方システムは、30代・40代・50代以上の3つの年代別に、昼夜の皮膚状態に対応するアンチエイジング対策を提

概日リズムに基づき抗加齢処方

案、美容液やクリームへの採用を促す。

利用例として、30代昼のケアにはストレスからくる皮膚バリア回復に焦点を置き、抗炎症作用を持つ植物成分「カナディアンウィローハープ」など、夜用にとくに内因性ストレスなどによる炎症の鎮静に着目したニューロペプチド「ニュートラ

ゼン」を紹介。初期老化の始まる40代昼用には、抗加齢機能のあるムコ多糖類「MDI コンプレックス PF」など、夜ケアには若さホルモン由来の生体模倣ペプチド「チムレン 4 BG」を提案。50代以上の昼用として、年齢シミには植物抽出エキスをチロシナーゼ阻害効果がある「チロスタット11」、また夜用としては皮膚にハリを与える「コラーレン B G」など最適原料を選び、処方提案する。